

動物園飼育日記 <277> 鶴井一成 <王子動物園学芸員
写真撮影も筆者>

ベンガルトラ 誕生す



トラのオスが壁に向って放尿する時、少しでも高い所へ尿の臭をつけておこうとしている。尿の位置が体格を示すことにもなるので、少しでも巨大なトラであることを見せておこうというのだろう。

イヌのそれに似ているが、トラのオスは後ろへピューとかなりの勢いで飛ぶので、ぶつかった尿が壁一面に飛び散るので褐色に染る。

仔細に見ると尿だけではなく糞も一定の所にしていることが分った。

つまり排便が“定位性”なのだ。

何故トラやライオンの排便の位置が決っているのだろうか。他の動物はどうなのかな。比較して見ると次のようなことが分つてくるのである。

【裏う側の肉食動物は“定位性”】
ライオン、トラ、ヒョウなどネコ科。タヌキ、キツネなどイヌ科。アナグマ、イタチなどイチタ科の動物は定位位置である。



それはナワバリを示すものだが、そこには先住者がいることを示すことになるが、餌物となる草食動物にとつては、そうした排便の位置を知ることで、遠ざかり危険から逃れることになるのだが、それでも肉食動物の大半は自分の存在を明らかにする定位性排便が多い。

よく考えるとこうした糞便によるナワバリの指表は、どうやら仲間間のバランスのとれたハンティングテリトリリーの維持に役立っている。

つまり多数の肉食獣が集ることは、草食動物が激減していく。

それがまた捕食者の肉食動物の生存をも危くしてしまうだろう。

とすれば、肉食動物の“定位性排便”は同種間、つまり、トラとトラとのナワバリの重複を避けるためのものと言えるのだ。

【裏われる側の草食動物は散糞性】

一方裏われる側の草食動物の大半は、ボロボロと糞を何処へも落して歩く。一定の所に排便することは少ない。

キリン、シカ、ヤギ、ゾウなどは、非常に広い行動圏を移動しながら草を食べているので一定の所には排便しない。

あちこちに落している方が天敵の襲撃を錯乱させることにもなるだろう。さらには、糞と未消化の種や実を撒き落しておくことにもなるだろう。つまり“散糞性”が食物連鎖のバランスを支える一助ともなっているのである。

【排便によるマークイングと繁殖】

そのトラのマークイングが近頃、目立ち始めた。洗えばよけいにひっかけて回るオスの顔が血走つ

てゐる。

「発情だな！」

見事に予感が的中した。およそ7日間の交尾期

を迎えたあと、109日めの早朝。

昭和36年11月28日。ベンガルトラのメス（アイ）が双子を生んだ。

母親の体重130kg位。それにしても子トラは小さく1kgはうつ伏せたまま動きもせず眼も閉じ、泣声も弱々しい。猛獸にしては考えられない程、小さな赤ちゃんである。

どうやら双子のようだが母親のアイが向う側に抱きかかえているから、子の姿を見るのに時間がかかった。

「双子が固っている」



生後40日のベンガルトラ

小さな体をピッタリ寄せあうように頭を並べ眠っていた子トラは、たっぷり乳を飲んだから、泣声もださずに眠っていました。もし、授乳できないままなら、子は、バラバラに歩き回りさかんに泣くはず。

母親が水呑場に立上つたら反射的に双子が固るのには感心させられました。

トラやライオンの子は猛々しい親に似ず未熟な子で体重生後1kg前後。生後2カ月位までは手掴みで抱き上げるほど弱々しい。

トラの生活は、基本的に単独生活なので母親だけで子育てをする。

動物園でもオスとメスは発情期のほかは激しく争うのでオスを別居させているのです。

自然界でも母親は倒木や岩穴の中で子を生み育てますが、時折り子を置いて餌物を捕えに出かけます。

そんな時、子が不用意に動きだしたことから誤つて転落してしまった。それを母親が口で咥えて元に戻します。

そうしたところを見たのでしよう。

「トラは千仞の谷に落す」といわれますが、決して突き落すなどしません。

母親（アイ）は係員の気配を知ると、そろり、と咥えては部屋の奥へ隠してしまいます。

食肉目ネコ科

トラ、（ベンガル）母親、北九州到津遊園生まれ（分布）ネパール、中国東北部、アムール、ウズベキ、インドネシアなどの針葉樹林。落葉樹林、マングローブ林に住む。

父親ロック、母親アイ、60年2月生まれ。



佐本
産科

ママといっしょに



赤ちゃん

津山いずみちゃん (昭和63. 9. 14生)

神戸市北区在住

“女の子らしく素直な、やさしい子になつてね!!”

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

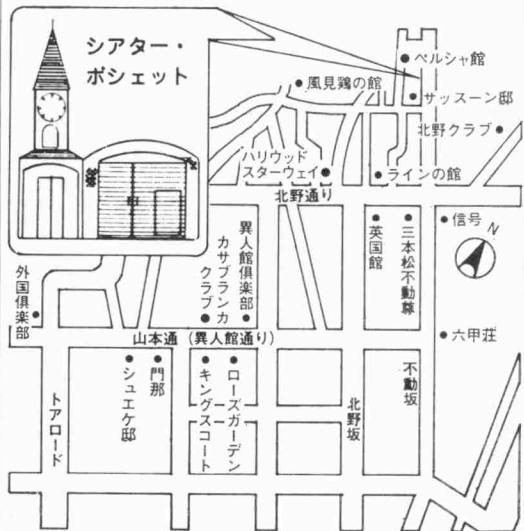
神戸市兵庫区中道通4-1-15
☎575-1024(病室☎576-9639)

市バス上沢4停南スグ

実験交流サロン シアター・ポシェット

1月の公演

22日(日) 13:30 ファミリーコンサート(有料)



★シアター利用のご案内

- 曜日、時間 / 土、日曜日(通常) AM10:00—PM8:00
 - 費用 / ホール設備の使用無料。光熱、空調、管理費のみ実費
 - 付帯設備 / グランドピアノ、エレクトーン、録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー、テーブレコーダー、マイク、映写機等
 - お申し込み、お問い合わせ
- そごう前センター街東南角、さんちか入口
〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F
佐本小児歯科 佐本進 ☎331-6302~3

<p>モダンダンス 今岡頌子舞踊団 今岡頌子・加藤きよ子 神戸市中央区三宮町1-5 TEL 078-391-1518</p>	<p>神戸 ネオトロピカル協会 会長 森 美代子 神戸市中央区山本通2-2-7 TEL 078-222-5875 242-5690</p>	<p>翔び立つ 21世紀へ</p>
<p>盛物・いけばな 知香流 家元成瀬香梅 神戸市灘区深田町2-3-4 TEL 078-851-8113</p>	<p>あなたを、新発見 サロン・ド・ポートピア 文化教室 ポートピアホテル 神戸市中央区港島中町6-10-1 TEL 078-302-1111 FAX 078-302-6877</p>	
<p>(財)小原流 理事長 小原夏樹 神戸市東灘区住吉山手4-12-70 TEL 078-811-0871</p>	<p>フラワーデザイン 「花のかたち」より 「花のこころ」を伝えたい マミフラワー デザインスクール 神戸教室 はなくりえーしょん (神戸大丸6F) 寺尾 啓子 神戸市東灘区田中町5-1-12 東灘スカイマンション710 TEL・FAX 078-453-3462</p>	<p>書・望月美佐</p>

今、文化は 神戸から



一九八九元旦

須磨寺

小池義人

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8
TEL 078-731-0416

佳生流華道

家元西村雲華
副家元西村公延

神戸市中央区野崎通3-3-21
TEL 078-221-6239

橋本幸子バレエ研究所

クラシックバレエ 橋本幸子

クラシックバレエ生徒募集入会隨時
花隈中央通り(山手教室)

神戸市中央区花隈町33-24
TEL 078-341-1884

専正池坊

家元諸泉祐陽

神戸市東灘区住吉山手3-2-21
TEL 078-811-1601

貞松・浜田

バレエ学園・バレエ団

貞松 融・浜田 蓉子

神戸本部スタジオ完成記念
公演

「くるみ割り人形」全幕
4月16日(日)
神戸文化大ホール

神戸市灘区畠原通3-6-6
TEL 078-861-2609

みやび流押絵

二代目家元 小西絹甫

芦屋市公光町3-15
TEL 0797-34-1001

※芦屋教室募集中

ラボルテ4F朝日カルチャーセンター内
TEL 0797-38-2666

翔び立つへ 21世紀



書・望月美佐

丹波延年窯 市野弘之 多紀郡今田町上立杭 TEL 0795-97-2212	舞子焼末汎窯 南汎 神手市西区神出町広谷623 TEL 078-965-2244
社団法人 能楽協会神戸支部 吉井順一 神戸市中央区多聞通3-1 湊川神社神能殿内 TEL 078-371-1358	久田観正会 観世流能楽師 久田徹二 明石市朝霧山手町22-7 TEL 078-911-9513
大和楽 蘭の会 大和楽理事長 蘭の会主宰 大和三千世 神戸市中央区中山手通7-1-15 TEL 078-341-3653	清元延柳 芦屋市高浜町8-3-243 TEL 0797-23-0887 稽古場/大阪心斎橋ジャノメミシン6F TEL 06-212-2767 213-0715 芦屋市東芦屋町ライラック洋品店 TEL 0797-22-3430
日本舞踊 花柳流 花柳五三輔 神戸市長田区西山町4-7-11 TEL 078-621-3209 691-3140 教室/長田交差点東側泉屋ビル4F TEL 078-576-7725	花柳流日舞教室 花柳芳一勢 神戸市兵庫区下符園町10-12 TEL 078-361-4509
日本舞踊 若由会 若柳吉由二 第16回若由会公演 5月21日(日)国際会館 神戸市垂水区平磯4-2-3 TEL 078-706-0113	日本舞踊 吾妻流 吾妻秀扇 神戸市灘区篠原北町4-11-8 TEL 078-881-0680

※順不同

今、文化は 神戸から



一九八九元旦

いけばな

草月流
森 丹草

西宮市甲子園浦風町18-17
TEL 078-47-3596

いけばな

小原流
亀島豊鶴

神戸市長田区片山町2-1
TEL 078-642-1758

学校法人 行吉学園

神戸女子大学
神戸女子短期大学

理事長・学長 行吉哉女
神戸市中央区中山手通2-23-1
TEL 078-231-1001

国際ソロプロチミスト神戸東
会長 西村多枝子

事務局/芦屋市船戸町4-1-415
安井多津子
TEL 0797-31-8288

モダン・ダンス

エコール・プラン・オオサワ

大沢範子
神戸市中央区山本通5-13-9
再度ハイツ101
TEL 078-351-3418

神戸コンサート協会

代表 中筋栄一

神戸市兵庫区湊川町3-3-2
TEL 078-511-5223

がれりや馬亜乃

木彫 村上喜平
染色 白石弘子
神戸市中央区北野町4-9-6
伊藤マンション21
TEL 078-242-5005

木彫

はちのす会

渡辺一生

渡辺二笙

西宮市千歳町4-12

TEL 0798-32-3300

財団法人

神戸市民文化振興財団

理事長 宮崎辰雄
神戸市中央区三宮町1-9-1
TEL 078-332-3320

財団法人

兵庫県文化協会

理事長 山本敏雄
神戸市中央区下山手通4-16-3
TEL 078-321-2131

<p>歌誌「高嶺」神戸支社 代表 飛松 實 神戸市須磨区離宮前町1-6-23 TEL 078-731-5449</p>	<p>新春のごあいさつを 申し上げます 武田芳一(歯科医) 1989年1月1日 文学50年未成就 神戸市兵庫区馬場町1-3 TEL 078-350-2330</p>	<p>今、翔び立つへ 21世紀 文化は 神戸から</p>
<p>声楽 ソプラノ 今井 熟子 神戸市東灘区御影町西平野伊賀塚20 TEL 078-811-6689</p>	<p>声楽 メゾ・ソプラノ 井上 和世 神戸市中央区再度山大龍寺 TEL 078-371-5838</p>	
<p>神戸マリンパソサエティ 宮本 慶子 神戸市灘区曾和町2-4-7 TEL 078-821-6838</p>	<p>染色工芸の花 R I T Z F L O R A 長浜 リツコ 神戸市灘区篠原北町3-5-9 TEL 078-881-8500</p>	<p>二紀会兵庫県支部 支部長 高崎 研一郎 神戸市西区学園西町7-3-710-102 TEL 078-792-0230</p>
<p>初心者から免状授与まで アートフラワー・アンティークフラワー・パンフラワー・フラワーデザイン フラワーコーディネイター養成・彫金 タカコアートスクール 天野 剛子 6月初旬展示会を開催 場所 グラシアニ邸(中央区北野町) お説明合わせのうえ、お越し下さい ※詳くは電話にてお問い合わせ下さい。 神戸市中央区北野町2-16-27 TEL 078-241-3355 大阪市北区鶴野町4-11 朝日プラザ梅田404 TEL 06-376-1414 ※その他、文化教室は近畿一円に</p>	<p>芸大・美大受験実技指導 初田美術研究所 所長 初田 寿 神戸市中央区北長狭通5-1-2 TEL 078-351-6260</p>	<p>書・望月美佐 一九八九元旦</p>

★神戸の集いから

★神戸市文化奨励賞受賞の

花柳五三輔師を祝う

11月18日の夜。



花柳五三輔氏を囲んで

新神戸オリエンタルホテル「眞珠の間」に、本年度の神戸市文化奨励賞を受賞された花柳五三輔師を祝う会が開催され、約170名が集つた。発起人は、妹尾文化ホール館長と、長田高校の先輩にも当る北嶋長田区長と同窓である神撫会、五三輔会の門下生たち。

出席者には、土井芳子婦人文化協会会長、高橋市民局長、福岡フェスピック事務局長、伊東中央区区長、そして師匠の花柳芳五三郎夫妻、佐野蓮實、重里文雄、谷村陽介、大和三千世さんら多彩な顔ぶれだった。



山田社長夫人を囲んで

★山菜料理「六段」新装開店・十周年

落ち着いた雰囲気の中で

★輝やかしき熟女たち
コンサートで熱唱！

11月27日の午後5時よ

り、生田新道のムーンライ

トビル五階の「ランタン」

において、関西二紀会の松本幸三さんの門下生が集う

トビル五階の「ランタン」

において、関西二紀会の松

本幸三さんの門下生が集う

トビル五階の「ランタン」

において、関西二紀会の松



美しき熟女たち勢揃い

★60本の紅い薔薇
演出家の岡田美代さんが

彼女をめぐる二十人の女性

たちに「それぞれ、三本の



岡田美代さんを囲んで

紅い薔薇の花を持つて、新オリエンタルホテルへお出

まし下さい」と、ご招待。

望月美佐、藤本ハルミ、

花柳芳恵一子、松本尚蒔、

大西節子、市野木江充子、

大里最世子、仲村米子、今

岡頬子、加藤きよ子さんな

ど神戸で活躍し、岡田演出

で日頃つきあいの多い女性

たちが捧げる紅い薔薇六〇

本に囲まれて「六〇歳は、

三度目の成人式」と、おし

やれた紅華の宴を開いた。

この後、大好きな中国の旅に出かけ、また年末も上

海、仙台の旅へと。若い若

い！

K.F.S. NEWS 142

コウベ・ファッショソサエティ

神戸ファッショソ市民大学OBによるグループ
神戸のファッショソ都市化をめざす

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子内 TEL.078-331-2246

●11月のマンスリーサロン

“自主独往”の精神による成長を

講師 金丸 収藏氏 <大和銀行三宮支店支店長>

11月18日（金）のマンスリーサロンは、大和銀行三宮支店支店長の金丸収藏さんをお迎えして、大和銀行独自の経営理念とともに、情報化時代において金融機関は果たしてどういったサービスを行なっていけるか、その可能性を、また今後金融機関が社会に果たすべき役割等をお話ししていただいた。

「大和銀行の創業者は戦前の野村財閥を築いた野村徳七というものです。徳七氏は、明治37年に父から譲られた店に国債株式現物問屋野村徳七商店という看板を掲げました。これが野村財閥のもとになったのです。当時、数多くの株屋があった中で、抜きんでて成功した一因は、日露戦争後の株価の暴落にあります。徳七氏は、半落するというよみの前ですべて“売り”にてて、巨大な富を得ました。その後、歐米使節に出かけ、それがこの銀行の設立の対象になったのです。アメリカは都市銀行的な性格が強く、影響をうけた徳七氏は自分の株を確実な金融の裏付けのもとに営業されるべきだという信念のもとに大正7年に、この銀行を



金丸 収藏 氏

設立しました。

昭和に入りまして、当時大阪では住友銀行が、他の追随を許さない、強力な銀行でして、それと拮抗のできるくらいの銀行をつくろうと、3行合併問題（山口銀行・鴻池銀行・三十四銀行）がおき、野村銀行にもその話がきて、4行で合併しようという動きになっていったのです。銀行の役員も、合併やむなししまでにきたのですが野村徳七氏がガンとして首をたてにふらなかつたのです。この時の徳七氏の方針をひとつ言葉で説明いたしますと、“自主独往”。意味はまさに字のとおり、“我が道をいく”です。この精神は、

この後、野村銀行が大和銀行に至るまであらゆる出来事の中で、いかされていきます。

特に、ワンマンといわれた寺尾頭取の時代におきた分離問題の中で、最も大きな意味をなしていると思います。大蔵省の高橋銀行局長が、“信託”を分離するよう行政指導をしたのですが、寺尾頭取が“自主独往”的精神で信託を守りぬいたのです。

最近の大和銀行のトピックスとしては大阪でおこなわれる“花と緑の博覧会”において融資先の会社で大輪会をつくり水をテーマにしたパビリオンをだしたり、大阪府に青少年センターを寄贈したりと新聞紙上を賑わし、従来の大和銀行ではない動きをしています。一つの銀行が独自のカラーをだすことによって、大きく流れが変わればと思ってます。」

●K・F・Sの新年会

毎年、恒例の新年会。今年も有馬へ1泊2日…。

日時 1月16～17日

阪急六甲15：00出発（直接行かれる方は現地17：00着）

場所 VIVI 有馬

（北区有馬町石倉406-3

☎ (078) 904-0017

会費 ¥13,000（うち ¥3,000は会が負担）

HEIDE SAND

それは、感動を呼ぶビスケットの名作



おいしさ競い合う5つの名作——
芳醇な発酵バターに、ナッツやチョコレート
を贅沢に使い焼きあげました
¥500(10包入)・¥2000(40包入)
¥3000(60包入)・¥5000(100包入)



ユーハイム

■新年宴会予約承り中

日本海特産／松葉がに
生の
解
せ
す
き
®

満足コース
ご一客さま
(税・サ込) **9,500円**
■ご予算、応相談

政府登録国際観光旅館
ホテル全但
〒650 神戸市中央区下山手通4-5-1 [全但会館]
市営地下鉄山手(県庁前)駅下車東出口2番1分
電話神戸078(391)3838(代)

兵庫県民会館開館20周年感謝の集い

話題のひろば

<II>

ひようご文化の核となつて20年



兵庫県民会館開館20周年感謝の集いに中央／三木副知事を囲んで大集合

財團法人兵庫県民会館が、下山手四丁目の栄光協会の隣りに白亜の十一階建で誕生したのは、昭和四十三年七月十三日のことだ。この県民会館が、二十周年を迎えて十一月二十六日の夜、十一階ホールで開館二十周年感謝の集いが開かれ、約百五十名が集つた。三木副知事は「金井知事時代に誕生したひようごの文化拠点で、五十二年には『県民アートギャラリー』を開設、五十五年には兵庫県文化協会が管理運営し、五十六年には一階の特別展示室を開き、五十七年には、ふるさと資料室、今年は『すずかけビデオ劇場』を開設し、県民に愛される県民会館に成長しました」とあいさつ。当夜は、神戸、全兵庫県の議員会の議員、小林武雄半どんの会代表他、沢山の文化人、文化協会役員、各地域文化団体の会長、山本敏雄兵庫県文化協会理事長たちが集い、五代目館長の武市華久美さんもにこやか。

毎月一万四千人近い人が利用する県民会館は、県民の文化オアシスだ。

特によく利用されるのは、兵庫県民アートギャラリーで、大展示室は95%の利用率というから、いかに文化の時代かがよく判る。

毎土曜日の午後一時三〇分から県民図書館所有のビデオテープで放映する『すずかけビデオ劇場』も、今人気が高い。

手四丁目の栄光協会の隣りに白亜の十一階建で誕生したのは、昭和四十三年七月十三日のことだ。この県民会館が、二十周年を迎えて十一月二十六日の夜、十一階ホールで開館二十周年感謝の集いが開かれ、約百五十名が集つた。三木副知事は「金井知事時代に誕生したひようごの文化拠点で、五十二年には『県民アートギャラリー』を開設、五十五年には兵庫県文化協会が管理運営し、五十六年には一階の特別展示室を開き、五十七年には、ふるさと資料室、今年は『すずかけビデオ劇場』を開設し、県民に愛される県民会館に成長しました」とあいさつ。当夜は、神戸、全兵庫県の議員会の議員、小林武雄半どんの会代表他、沢山の文化人、文化協会役員、各地域文化団体の会長、山本敏雄兵庫県文化協会理事長たちが集い、五代目館長の武市華久美さんもにこやか。

毎月一万四千人近い人が利用する県民会館は、県民の文化オアシスだ。

特によく利用されるのは、兵庫県民アートギャラリーで、大展示室は95%の利用率というから、いかに文化の時代かがよく判る。

毎土曜日の午後一時三〇分から県民図書館所有のビデオテープで放映する『すずかけビデオ劇場』も、今人気が高い。

■神戸ネオトロ・Xマスパーティー

話題のひろば

<III>

白いキャンドル '88年を送る

「'88年のクリスマスは自虐ムードで、タキシードを着るチャンスがないと思つていましたら、ネオトロのお招きで晴れをいたしました。今宵は楽しい夜に！」と、乾杯の音頭をとつたのは長澤大丸神戸店タ長。



(左上) 優雅に踊る会員たち。(中左) 井上・森原の模範ダンス (左中) あいさつする森会長 (右上) ジャンメルオー神父の法話
(左下) 喜びの鬼塚氏 (下中) 中国歌を唄う羅さん (左下) 服部良一夫妻・高木東六、森会長を囲んだ会員たち

森会長は「天皇陛下のお加減が悪いので、東京の大夜会も中止になりましたが、神戸は会員だけでアットホームなパーティを開くことができ嬉しく、いい出会いをいつも心掛けて下さる神戸のスタッフに感謝しています」とスピーチ。羅清水さんはカンツォーネと中国の歌、また高木先生のピアノで“かもめ”を唄つて拍手を受けた。(ピアノは中村磨美) 井上・森原コンビの模範演技は鮮やかでダンスの醍醐味だ。ネオトロダンス教室の四年間のレッスンで、会員のダンスも楽しく、神戸ネオトロらしい集いだった。

ぼく、どこにでもいるカバです
——『福祉の文化』の創造へ

今から20年前の昭和43年10月に西宮市内に「心身障害児福祉ビューロー」という小さな民間団体が誕生した。5年後の昭和48年にはその名称を「兵庫県心身障害児福祉協会」と改め、神戸市内にも事務所を開設。発足以来障害をもつた子供たちの言語訓練、機能訓練、触・視知覚訓練、感覚統合訓練など行政に先がけて次々と新しい療育活動を始めてきた。また車イスでのハワイやヨーロッパへの旅、キャンプやレクリエーション、障害児関係の図書室の開設、啓発運動、重度障害者介護主婦ボランティア・サービスなど、民間団体としてユニークな事業を企画し、実施してきた協会が昨年の11月で創立20周年を迎えた。

に立つて人権問題を考えて行くことが必要です。

新しい価値を見つけ出し、福祉の文化を創造していくことが協会の一つの使命です」と語りかけた。同時にこの席で協会が20周年を機に出版した絵本「まく、どこにでもいるカバです」が披露された。

この絵本の出版のネライを冊子から引用すると
「私たちと同じ地域社会に、身体の不自由な子ど

も、発達の
おくれた子
どもたち

11月6日には20周年を迎えてポートアイランドの神戸国際会議場で記念のパーティーが開かれた。この席で協会の今井鎮雄理事長は「この20年間

に社会は大きく変化してきました。コンピュータの時代になり、人間が非人間化する時代となり、これから高齢化社会を迎えると、人間が人間らしく生きることのできる社会、すなわち弱い人の側



20周年記念の集い（神戸国際会議場で）

に毎日を送つていま
す。そして、それ
何の不思議もないと
ことです。

橋本明
（社団法人家庭養護促進協会事務局長）



からといってみんなとは違う地域社会や生活があるわけではありません。ただ、お年寄りに少し手を貸したり、大きな声でお話を必要があったりするのと同じように何らかの手助けが必要かも知れませんが。障害があってもみんなが同じ社会を構成するメンバーだとする“基本的人権の尊重”の考え方をノーマライゼーションといふことばで表わします。この考え方を幼い心にしつかり芽生えさせることができれば、誰もがもっと住みよい社会が育つのではないかでしょうか。新しい福祉思想であるノーマライゼーションの考え方を絵本に託して幼い子どもたちに届けたいと考えました。そして、幼い子どもたちが絵本の中から誰に教えられるわけでもなくこの考え方をそれぞれの心の中に自然に受け入れ、福祉の原点である他者に対する思いやりの気持ちを次の世代に活きずかせてくれることを願つて絵本の出版と配布を企画いたしました」とある。

この絵本に登場するカバくんは、うれしい時にとつ



絵本の出版記念パーティー



絵本作家の宮崎博和さん

八〇〇〇部印刷し、販売店が五〇〇〇部を一般書店で販売、三〇〇〇部を協会で販売することになった。協会では一般のお母さんや子どもたちにもぜひ読んでもらいたいと考え「絵本サンタクロースになつてください」と呼びかけた。一冊一三五〇円（絵本代千円と送料三五〇円）を協会に送り、届け先を指定すれば、協会から先方へこの絵本がプレゼントされるわけである。「20年前にこの協会がスタートした時は、障害児はあわれみや、かわいそうな子どもたち、という見方をされていました。今はもうそんな時代ではなく、ノーマライゼーションにもとづいて福祉を文化へと高めていく時代にならなければ。その実現に向つてこれから協会は歩んでいきたいのです」とスタッフの田坪直さんは言う。その第一歩のステップとしてまずこの絵本を一人でも多くの人達に読んでもらうことが協会の願いでもある。

（財）兵庫県心身障害児福祉協会 神戸市中央区中山手通五一一四

てもこわい顔になつてしまふというひとつの障害をもつてゐる。この障害を取り除くことはどうしてもでき

★出合いの旅

中国の女性に 夢を…

大西 節子

△デザイナー



私は一つの仕事に取りかかる前に一度は過去を振り向いてみるのが癖である。もつとも、格好良く言えば、遠いノンタルジアにどっぷり身を沈め、その中から、ふと沸き出てくるエネルギーの様なものによって前に押し出されて行くかもしれない。今回、中国に赴いたのも、そういうものの様に思える。

昭和十四・五年頃、私の母の兄や、私の父が、上海に渡り事業を起こしていたのを思い出す。伯父はガラス工場を、父は中華鉄道に、長崎の港から、舞鶴の港から、東支那海と日本海とを、渡つていったのだ。五十年に近い昔のことである。

家族の間では母の兄のことは、上海の伯父さんと呼ばれていた。中国の方を二千人社員に持ち大きな工場を造つていた様で、父は古き良き時代の華鉄マンであった。日本が、第2次世界大戦の終戦を迎えた昭和二十年の翌年、伯父の会社にいた中国の方々の暖かい助けを得て、無事に日本に帰国出来的様子を、幼ないなりに、耳にし理解していたことを、はつきりと思い出す。私が、人の心と心の絆を大切に知りはじめたのは、その頃からかもしれない。又、立派な黒檀の硯箱、置物、支那のシルクの織物、母は支那綿子と、喜び大切に着物の帯にしたり私その他所行きの洋服を作つたりした。当時、支那から日本に送られてくるそれは贅沢な品物であった。荷物の宛て名の頭には、常に、大日本帝国と記してあり、荷物の

中に入れられた一通の手紙に書かれた途てつまない雄大で壯觀この上もない万里の長城の話を聞かされでは、その光景に思いをはせ、一度はその前に立つてみたいと、幼ない胸をときめかしたものであつた。

そして、ちょうど三年前、そのチャンスにめぐりあえた。私の母校、神戸ファッション専門学校の福富理事長・福富校長のおともをする機会を得たのである。北京での校長の講演とファッションショーには、国境を越えた交流に胸うたれるものがあった。我が恩師をこれほどにも大きく思えたのも始めてであつた。中国の芸術学校の学生、洋裁学校の生徒、北京市民、その中に胡耀邦夫人（元主席夫人）をお迎えしての講演だった。その折、ご同席申しあげた私に、夫人は人民服の襟元に隠す様に巻かれたスカーフをちらつと、お見せになり言われた。「私も、やつとこういうものをするようになりました。日本と中国の間には色々なことがありましたが、あなたと私はファッショントンという文化でつながっているのですね」私は、この言葉に感動した。そして翌日は天津に行き李天津市長様に会食に招かれた。中国へは、あまり派手な色は着用して行かない様にと聞かされていたが、私はあえて淡いピンクのドレスを身につけた。市長は私に、「中国は日本に四十年おくれている。私たちは衣服についても、すばらしい技術は持つてはいる。しかしデザイン力と色彩感覚が乏しい。あなたがたの良き指導を受け研究

することが出来れば、中国の女性も、美しい色を着、すばらしいファッショントリオを造り出すことができるでしょう」と言わされた。私の脳裏を色々なことがかすめ「中国の女性に夢を」と、この秋、再び中国に渡ることを決めた。

十月二十五・六日、五千人収容の天津体育館は、爆発するほどの満席となり、外からは窓によじのぼり見ている人達、優雅なイブニングドレスのファニーに、会場は、ため息と、あつい熱気をわいた。ショーの最後に、私は中国のモデルに押し出される様に体育館の中央の舞台に立ち、マイクを持った。「中国の皆様、今晚は、ようこそお越し下さいました。私は日本、神戸から参りました。今年は天津市と神戸市は姉妹都市十五年を迎えた年です。衣服の文化を通してもっと皆様と、友好を深く結んでゆけることを祈ります。謝謝（ありがとうございます）」わずか、三十秒の間に、大きな拍手と、熱い視線に、こんなにも感激の心の出会いがあった



▲（上・左）筆者の亡き父。（写真・左）／（上・右）万里の長城／（中）華やかなファッショントリオ／（下）天津市長と乾杯／

のか——と言葉にはならない。ショーを終えて夜十時半、天津体育館の入口に出た。ホテルからの迎えのマイクロバスの前に二十人ほどの若い男性が私を待っていた。服装設計士（服装デザイナーの意味らしい）と皆んな握手を求めて、手をさしのべてくれた。又もや感激である。最後に父親が幼ない女の子をだきあげて、服装設計士にさせたい、あなたの手の技術を——と涙の出る握手をした。国境を越えた人の感情がこれほどにも、きめこまやかに心のひだにくい込んでくるものなのか。ああこの仕事をしていくよかったです。今回も、勇気を出して中国に来て、よかったです。

天津から北京へ、夕映えの万里の長城の前に立つ。もう初冬を迎え、なんとすばらしい眺めか。出会いは作ろうと思って出来るものではない。一瞬一瞬を大切に生きてこそ、その中から見出せるものの様に思える。いつ又、どこで、私にこのすばらしい出会いが待っていてくれるのだろうか。